

2023年度（令和五年度）

2023年（令和五年）4月1日～2024年（令和六年）3月31日

事業報告書



学校法人小山学園

専門学校東京工科自動車大学校

専門学校東京工科自動車大学校世田谷校

専門学校東京工科自動車大学校品川校

専門学校東京テクニカルカレッジ

<目次>

1. 法人の概要	p.2
2. 2023年度（令和五年度）事業報告	p.5
3. 財務状況	p.19

【建学の精神】

「自由啓発教育」

絶え間なく変動する社会に積極的にチャレンジし貢献する、
人間性豊かで創造性に富んだ技術者を育成する。

【学園理念】

技術者を目指す全ての人の夢を受け止め、
高い技術力と豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、
社会に貢献します。

【長期経営ビジョン】

- ① 産業界の進化・変革期への対応
- ② アジアパシフィックマーケットの拡大
- ③ 人と組織の変革

はじめに

ここに2023年度（令和五年度）の学校法人小山学園（以下当学園）は、アフターコロナにおける学校運営の最適化を目指し、「① 成長戦略への取り組み強化」、「② 学生募集機能の強化」、「③ 教育活動の安定的運営」の三つの大項目の実現に向けて取り組んで参りました。このうち①の成長戦略への取り組み強化は、中期計画で定めた学校法人としての将来の成長戦略への取り組み、すなわち「高専連携」、「海外事業」、「HRD 事業」などについて積極的に取り組みました。いずれも成果はありましたが、特に海外事業については、地方の日本語学校との連携強化や留学生支援策の導入などにより入学者数増に大きく貢献しました。次の②の学生募集機能の強化は、専門学校事業の安定運営への取り組みであり、外部環境の変化に合わせて学生募集活動全体の見直しを図ってまいりました。その成果として、入学者数、在籍者数ともに前年度から増となりました。最後の③の教育活動の安定的運営は、専門学校事業の安定運営への取り組みであり、法人のガバナンス強化や組織人事体制の見直しなどについて継続的に取り組んでいます。

以下、2023年度（令和五年度）の当学園の諸活動についてご報告申し上げます。

2024年（令和六年）5月
学校法人小山学園

1. 法人の概要

1.1. 役員等の状況（2023年度）

（1）理事長・理事・監事・学園長・顧問

2024年3月31日現在

職	氏名	備考
理事長	山本 匡	寄附行為 第5条2項

理事	佐藤 康夫	寄附行為 第6条1項一号
理事	山本 匡	寄附行為 第6条1項二号
理事	高瀬 恵悟	寄附行為 第6条1項二号
理事	山本 とも子	寄附行為 第6条1項三号
理事	内藤 将彦	寄附行為 第6条1項三号
理事	八木 陽一郎	寄附行為 第6条1項三号
監事	永塚 弘毅	寄附行為 第7条1項
監事	嘉納 健二	寄附行為 第7条1項

学園長	山本 眞	寄附行為 第20条2項
顧問	堀 洋一	寄附行為 第21条2項

（2）評議員

2024年3月31日現在

職	氏名	備考
評議員	山本 匡	寄附行為 第26条1項一号
評議員	高瀬 恵悟	寄附行為 第26条1項一号
評議員	白井 雅哲	寄附行為 第26条1項一号
評議員	澁谷 健	寄附行為 第26条1項一号
評議員	葉山 和彦	寄附行為 第26条1項一号
評議員	園田 幸祐	寄附行為 第26条1項一号
評議員	井坂 昭司	寄附行為 第26条1項一号
評議員	甲田 竜雄	寄附行為 第26条1項一号
評議員	長窪 誠	寄附行為 第26条1項二号
評議員	吉岡 誠一	寄附行為 第26条1項二号
評議員	山本 眞	寄附行為 第26条1項三号
評議員	谷川 潮	寄附行為 第26条1項三号
評議員	竹尾 和也	寄附行為 第26条1項三号
評議員	高橋 康浩	寄附行為 第26条1項三号
評議員	影山 裕介	寄附行為 第26条1項三号
評議員	山本 雅秀	寄附行為 第26条1項三号

(3) 教職員数 (2024年3月31日現在)

(単位：人)

	中野	世田谷	品川	テクニカル	法人本部	広報本部	合計
教員	13(-3)	14(-2)	9(±0)	25(-1)	0(0)	0(0)	61
職員	9(+6)	4(-4)	3(±0)	8(±0)	13(-2)	25(+2)	62
計	22(+3)	18(-6)	12(±0)	33(-1)	13(-2)	25(+2)	123(-4)

(単位：人、休職者を含む、()内数字は前年度からの増減)

1.2. 設置学校・学科 (2023年度)

当学園の2023年度(令和五年度)の設置校ならびに設置学科を以下に示す。

(1) 専門学校東京工科自動車大学校

<所在地>東京都中野区中野6-21-16

<校長>佐藤 康夫

<学科>工業専門課程 【昼間部】
1級自動車整備科 4年制
自動車整備科 2年制
エンジンメンテナンス科 2年制

(2) 専門学校東京工科自動車大学校世田谷校

<所在地>東京都世田谷区桜新町1-2-1

<校長>佐藤 康夫

<学科>工業専門課程 【昼間部】
1級自動車エンジニア科 4年制
自動車整備科 2年制
自動車整備科 2年制
(メルセデス・ベンツコース)
【夜間部】
自動車整備科 2年制

(3) 専門学校東京工科自動車大学校品川校

<所在地>東京都品川区南品川3-7-12

<校長>澁谷 健

<学科>工業専門課程 【昼間部】
1級自動車整備科 4年制
自動車整備科 2年制
自動車整備科 2年制
2輪コース(ハーレーダビッドソン専科)

(4) 専門学校東京テクニカルカレッジ

<所在地>東京都中野区東中野4-2-3

<校長>白井 雅哲

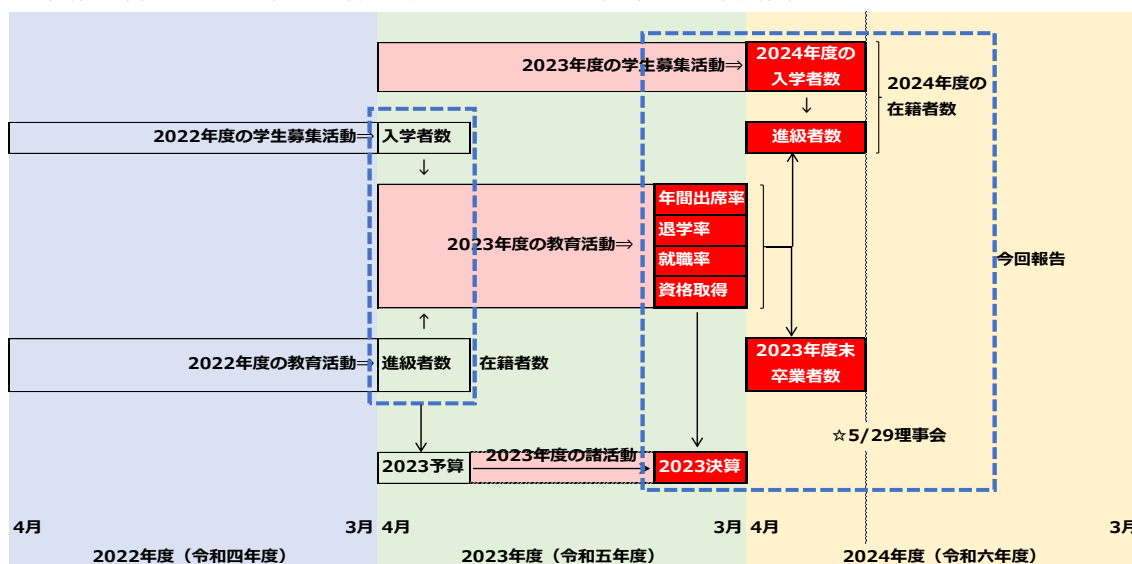
<学 科>工業専門課程	【昼間部】	建築監督科	4年制
		建築科	2年制
		インテリア科	2年制
		情報処理科	2年制
		IoT+AI科	2年制
		データサイエンス+AI科	2年制
		Web 動画クリエイター科	2年制
		ゲームプログラミング科	2年制
		バイオテクノロジー科	2年制
		環境テクノロジー科	2年制
		ブリッジエンジニア科	1年制
	【夜間部】	建築科	2年制

2. 2023年度（令和五年度）事業報告

2.1. 学園全体の事業活動報告

(1) 事業報告の考え方

本報告書における学園の諸活動ならびにその結果の対象期間は次の通りである。



(2) 学生数の動向（在籍状況）

① 学校基本調査の動向

前項の考え方にに基づき当学園の2023年度（令和五年度）の教育成果並びに学生募集成果を示すために、2024年5月1日時点の「学校基本調査¹」の結果を下表に示す。本学においては2024年3月末に462名（前年度485名）の卒業者を送り出し、2024年4月に676名（前年度425名）の学生を迎え入れた。

<2024年度（令和六年度）学校基本調査データ（2024年5月1日集計）> (単位：人)

	2024年度 在籍数			2024年4月入学者数			2024年3月卒業生数		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
中野校	305	12	317	180	5	185	75	1	76
世田谷校	223	14	237	107	8	115	96	4	100
品川校	120	6	126	59	3	62	48	2	50
テクニカルカレッジ	380	149	529	227	87	314	171	65	236
計	1,028	181	1,209	573	103	676	390	72	462

註 自動車大学校3校の入学者数には、それぞれ3年次の編入者（中野6名、世田谷1名、品川1名）を含む。

註 東京テクニカルカレッジの入学者数にはブリッジエンジニア科（1年課程）への入学者80名を含む。

(3) 年間の教育成果（退学率・年間出席率・卒業生数・就職率等）

2023年度（令和五年度）の当学園4校は、入学・進級者1,053名に加え留年等14名を含む期首在籍数1,067名でスタートした（2022年度から143名減）。年間の退学者数は77名で退学率は7.2%であった。結果として期末在籍数は990名であった。このうち457名が卒業し、10名は留年であった。

一方、学園全体の年間出席率は94.4%と高水準を保っているものの、前年度の95.6%からみると僅かではあるが悪化傾向にある。就職状況においては、就職希望者の就職率は全校100%を維持している²。

¹ 統計法（平成19年5月23日法律第53号）に基づく指定統計第13号に指定された統計調査。文部科学省により実施され、毎年5月1日に所管官庁に提出する。

² 一部データ（添付資料②など）で就職率が100%表記で無いものもあるが、これは進学等が含まれるためである。

2.2. 専門学校東京工科自動車大学校（中野校）

(1) 学生募集（添付資料①関連）

2023 年度（令和五年度）の東京工科自動車大学校（以下中野校）の入学者数は、以下の通りである。

（単位：人）

昼・夜	学科	2023 年度 入学者	2024 年度 入学者
昼	1 級自動車整備科	37	35
	自動車整備科	20	98
	エンジンメンテナンス科	14	46
合 計		75	179

※ 1 級自動車整備科は 3 年次編入生は除く（2022 年度 6 名、2023 年度 8 名、2024 年度 6 名）。

(2) 教育成果（添付資料②関連）

① 概況

2023 年度（令和五年度）の中野校は、期首在籍数 226 名でスタートした。期末在籍数は 208 名で退学率は 8.0%であった。年間出席率は 95.4%で前年度の 97.4%から 2.0 ポイント低下した。当該期中に発生した留年者は 2 名であった。

② 就職関連

中野校の 2023 年度（令和五年度）の卒業者は 76 名であった。また就職希望者の就職率は 100%であった。

③ 資格取得

中野校の 2023 年度（令和五年度）卒業生の資格合格率は下表の通りである。

昼・夜	学科	目標資格	2022 年度 合格率	2023 年度 合格率
昼	1 級自動車整備科	一級自動車整備士	86.1%	94.3%*
	自動車整備科	二級自動車整備士	100%	92.9%
	エンジンメンテナンス科	二級自動車整備士	100%	100%

※ 1 級合格率の内訳は「学科」のみの値。

2.3. 専門学校東京工科自動車大学校世田谷校

(1) 学生募集（添付資料①関連）

2023 年度（令和五年度）の東京工科自動車大学校世田谷校（以下世田谷校）の入学者数は、以下の通りである。

（単位：人）

昼・夜	学科	2023 年度 入学者	2024 年度 入学者
昼	1 級自動車エンジニア科	32	19
	自動車整備科	21	50
	自動車整備科（メルセデス・ベンツコース）	11	21
夜	自動車整備科	18	24
合 計		93	114

※ 1 級自動車エンジニア科には 3 年次編入生は除く（2022 年度 4 名、2023 年度 5 名、2024 年度 1 名）。

(2) 教育成果（添付資料②関連）

① 概況

2023 年度（令和五年度）の世田谷校は、期首在籍数 234 名でスタートした。期末在籍数は 222 名で、退学率は 5.1%であった。年間出席率は 95.4%で前年度とほぼ同水準であった。当該期中に発生した留年者は 2 名であった。

② 就職関連

世田谷校の 2023 年度（令和五年度）の卒業者は 100 名で、校全体の就職率は 100%であった。

③ 資格取得

2023 年度（令和五年度）の世田谷校の受験対象者の資格合格率は下表の通りである。

昼・夜	学科	目標資格	2022 年度 合格率	2023 年度 合格率
昼	1 級自動車エンジニア科	一級自動車整備士	94.4%	90.9%※
	自動車整備科	二級自動車整備士	100%	100%
夜	自動車整備科	二級自動車整備士	100%	100%

※ 1 級合格率の内訳は「学科」のみの値。

2.4. 専門学校東京工科自動車大学校品川校

(1) 学生募集（添付資料①関連）

2023 年度（令和五年度）の東京工科自動車大学校品川校（以下品川校）の入学者数は、以下の通りである。

（単位：人）

昼・夜	学科	2023 年度 入学者	2024 年度 入学者
昼	1 級自動車整備科	18	17
	自動車整備科	14	26
	自動車整備科 2 輪コース（ハーレーダビッドソン専科）	26	18
合 計		48	61

※ 1 級自動車整備科には 3 年次編入生は除く（2022 年度 3 名、2023 年度 1 名、2024 年度 1 名）。

(2) 教育成果（添付資料②関連）

① 概況

2023 年度（令和五年度）の品川校は、期首在籍数 126 名でスタートした。期末在籍数は 114 名で、退学率は 9.5%であった。

② 就職関連

品川校の 2023 年度（令和五年度）の卒業者は 12 名で、校全体の就職率は 100%であった。

③ 資格取得

2023 年度（令和五年度）の品川校の受験対象者の資格合格率は下表の通りである。

昼・夜	学科	目標資格	2022 年度 合格率	2023 年度 合格率
昼	1 級自動車整備科	一級自動車整備士	90.0%	83.3%※
	自動車整備科	二級自動車整備士	100%	96.9%

※ 1 級合格率の内訳は「学科」のみの値。

2.5. 専門学校東京テクニカルカレッジ

(1) 学生募集（添付資料①関連）

2023年度（令和五年度）の東京テクニカルカレッジの入学者数は、以下の通りである。

（単位：人）

昼・夜	学科	2023年度 入学者	2024年度 入学者
昼	建築監督科	10	7
	建築科	37	32
	インテリア科	11	22
	情報処理科	22	27
	IoT+AI科	8	16
	データサイエンス+AI科	5	15
	Web動画クリエイター科	25	35
	ゲームプログラミング科	19	19
	バイオテクノロジー科	22	28
	環境テクノロジー科	11	5
	ブリッジエンジニア科	5	80
夜	建築科	25	28
合 計		200	314

(2) 教育成果（添付資料②関連）

① 概況

2023年度（令和五年度）の東京テクニカルカレッジは、期首在籍数481名でスタートした。期末在籍数は446名で、退学率は7.3%であった。なお、当該期中に発生した留年者は6名であった。

② 就職関連

2023年度（令和五年度）の東京テクニカルカレッジの卒業者は231名で、校全体の就職率は100%であった。

③ 資格取得

2023 年度（令和五年度）の東京テクニカルカレッジの資格合格率は下表の通りである。
 なお、いずれの指標も分母は各科の全ての対象者（卒業生、在校生）である。

昼・夜	学科	目標資格	2022 年度 合格率	2023 年度 合格率
昼	建築監督科	2 級建築施工管理 技士補	91%	96%
	建築科	2 級建築施工管理 技士補	88%	95%
		二級建築士 (卒業後 1 年目)	5.3%	8%
	インテリア科	インテリアコーディネーター学科	19%	21%
		インテリアコーディネーター最終	12%	11%
		福祉住環境コーディネーター 3 級	15%	14%
		色彩検定 3 級	79%	100%
	情報処理科	基本情報技術者試験	—	35%
	データサイエンス+AI 科	統計検定 3 級	0%	33%
		基本情報技術者試験	13%	17%
		IT パスポート	—	33%
	IoT+AI 科	AWS クラウド ブракティショナー	—	29%
		IoT システム 技術基礎	22%	57%
	ゲームプログラミング科	C 言語プログラミング 能力認定試験	97%	94%
	Web 動画クリエイター科	Web デザイナー検定 ベーシック合格率	100%	83%
	バイオテクノロジー科	中級ハイクラス技術者	90%	100%
		特定化学物質等作業 主任者/有機溶剤作 業主任者	38%	88%
環境テクノロジー科	水質関係第 4 種公害 防止管理者	90%	100%	
	e c o 検定(環境社会 検定試験)	38%	88%	
ブリッジエンジニア科	日本語能力検定試験 N2	20%	20%	
夜	建築科	2 級建築施工管理 技士補	50%	19%
		二級建築士 (卒業後 1 年目)	53%	25%

2.6. 学校行事等

(1) 学事日程

2023年度（令和五年度）においては、4校合同の入学式を2023年4月5日（水）に「なかのZEROホール」にて挙行了。また、東京テクニカルカレッジの卒業式を2024年（令和六年）3月15日（金）に、また東京工科自動車大学校3校合同の卒業式を同3月18日（月）にそれぞれ挙行了（いずれも「なかのZEROホール」で実施した）。

そのほか各校において、新入生ガイダンスやフレッシュマン研修、就職プログラム、学園祭（東京工科3校）、学修成果発表会（東京テクニカルカレッジ）などの学校行事を実施した。また、各校・各科の教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会などについても予定通り実施した。

なお、長らく東京テクニカルカレッジにおいて実施してきた「建築・インテリア海外研修」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、2023年度より再開して2024年3月6日～同12日（4泊7日）の日程で、スペイン・バルセロナに学生20名（引率教員1名+添乗員1名）のかたちで無事催行した。

(2) 会議等

2023年度（令和五年度）は以下の会議を実施した。

① 理事 会：2023年（令和五年）5月25日（木）、同7月27日（木）、
同9月28日（木）、同11月30日（木）、
2024年1月25日（木）、同3月28日（木）

② 評 議 員 会：2023年5月25日（木）、
2024年3月28日（木）

また、以下の教職員研修（FD/SD研修）を実施した。

春期研修	：2023年3月30日（木）	・・・事業計画発表会
夏期研修	： 同 7月31日（月）	・・・教務研修
冬期研修	： 同 12月26日（火）	・・・広報研修

3. 財務状況

3.1. 決算概要

2023年度（令和五年度）の期首予算は基本金組み入れ前収支差額として302百万円の赤字計画であったが、支出削減などで80百万円を回復し最終的には222百万円の赤字となった。まず、収入に関しては期首予算に対して15百万円増加したが、これは留学生の出願増加による入学検定料等の増収7百万円、文科省事業（リカレントプログラム）の新規受託22百万円の増収、一方でキャリア開発研究所（ICA）の売上げが2百万円減少や在籍学生数が減少した影響によるPC・教科書販売の収入減少などによる影響がある。

また、支出に関しては採用遅延による人件費減少（▲29百万円）や予算時に燃料・原材料急騰による影響額を多めに見積もったことによる支出減少（▲35百万円）などが支出圧縮に寄与した。以上、結果として事業収支として81百万円が回復された。

これらに加えて高専連携や寄附などの営業外収入2百万円増加、また長野教育センター備品処分により2百万円の損失等があり、総収支は80百万円の回復となった。

3.2. 貸借対照表

資産の部			
科目	2021年度	2022年度	2023年度
固定資産	8,156,337,871	8,186,379,243	8,123,502,742
流動資産	1,538,953,188	1,309,876,764	1,237,131,984
資産の部合計	9,695,291,059	9,496,256,007	9,360,634,726
負債の部			
科目	2021年度	2022年度	2023年度
固定負債	0	4,409,967	2,863,587
流動負債	1,006,740,514	856,333,176	943,973,012
負債の部合計	1,006,740,514	860,743,143	946,836,599
純資産の部			
科目	2021年度	2022年度	2023年度
基本金	12,151,352,002	12,321,432,794	12,408,442,494
1号基本金	12,023,352,002	12,193,432,794	12,280,442,494
4号基本金	128,000,000	128,000,000	128,000,000
繰越収支差額	△3,462,801,457	△3,685,919,930	△3,994,644,367
翌年度繰越収支差額	△3,462,801,457	△3,685,919,930	△3,994,644,367
純資産の部合計	8,688,550,545	8,635,512,864	8,413,798,127
負債及び純資産の部合計	9,695,291,059	9,496,256,007	9,360,634,726

（単位：日本円）

3.3. 事業活動収支

事業活動収入の部					
	科目	2021年度	2022年度	2023年度	
教育活動収支	学生生徒等納付金	1,492,523,364	1,367,416,264	1,222,471,523	
	手数料	10,274,584	8,415,238	18,342,224	
	寄付金	300,000	4,135,400	4,196,567	
	経常費等補助金	57,963,200	59,892,427	46,855,700	
	付随事業収入	242,051,276	214,195,905	202,023,325	
	雑収入	5,057,791	14,397,881	7,058,772	
	教育活動収入計	1,808,170,215	1,668,453,115	1,500,948,111	
	事業活動支出の部				
		科目	2021年度	2022年度	2023年度
		人件費	881,344,141	879,004,448	887,501,727
	教育研究経費	353,656,951	372,495,842	356,525,438	
	管理経費	491,116,119	470,087,584	476,482,113	
	徴収不能額等	0	0	0	
	教育活動支出計	1,726,117,211	1,721,587,874	1,720,509,278	
	教育活動収支差額	82,053,004	△53,134,759	△219,561,167	
教育活動外収支	教育活動外収入計	91,843	97,135	108,216	
	教育活動外支出計	0	0	0	
	教育活動外収支差額	91,843	97,135	108,216	
	経常収支差額	82,144,847	△53,037,624	△219,452,951	
特別収支	特別収入計	1,609,899	0	△1,364,791	
	特別支出計	1,684,835	57	896,995	
	特別収支差額	△74,936	△57	△2,261,786	
	基本金組入前当年度収支差額	82,069,911	△53,037,681	△221,714,737	
	基本金組入額合計	△100,649,501	△170,080,792	△87,009,700	
	当年度収支差額	△18,579,590	△223,118,473	△308,724,437	
	前年度繰越収支差額	△3,444,221,867	△3,462,801,457	△3,685,919,930	
	基本金取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△3,462,801,457	△3,685,919,930	△3,994,644,367	

(単位：日本円)

3.4. 資金収支

収入の部			
科 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度
学生生徒等納付金収入	1,492,523,364	1,367,416,264	1,222,471,523
手数料収入	10,274,584	8,415,238	18,342,224
寄付金収入	300,000	300,000	0
補助金収入	57,963,200	59,892,427	46,855,700
資産売却収入	1,627,000	0	896,940
付随事業・収益事業収入	242,051,276	214,195,905	202,023,325
受取利息・配当金収入	91,843	97,135	108,216
雑収入	5,057,791	14,397,881	7,058,772
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	815,489,940	722,638,190	787,990,347
その他の収入	93,801,693	68,967,122	61,603,633
資金収支調整勘定	△947,446,668	△873,445,796	△798,066,000
前年度繰越支払資金	1,404,069,495	1,400,952,499	1,218,038,118
収入の部合計	3,175,803,518	2,983,826,865	2,767,322,798

支出の部			
科 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度
人件費支出	881,344,141	879,004,448	887,501,727
教育研究経費支出	205,448,661	220,863,453	202,536,869
管理経費支出	484,439,254	459,810,795	464,714,294
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	106,944,015	143,207,838	113,753,838
設備関係支出	28,778,599	41,210,982	14,716,528
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	289,958,025	207,821,330	64,979,712
資金支払調整勘定	△222,061,676	△186,130,099	△40,058,965
次年度繰越支払資金	1,400,952,499	1,218,038,118	1,059,178,795
支出の部合計	3,175,803,518	2,983,826,865	2,767,322,798

(単位：日本円)

以上